

とよあけ

市議会だより

No.268



TOYOAKE



特集

議場の多目的利用

令和8年 開会議会、6月定例月議会

2026年
8月号

タイトル 盆踊り
撮影者 徳田町盆踊り実行委員会

議場の多目的利用

2016年から2018年にかけて豊明市議会では、議場でコンサート等、市議会の議事以外に活用する試みがありました。現在は行っていないが、今後の参考に全国の自治体の議場の多目的利用について調べてみました。

秦野市議会



コンサート等の実施

神奈川県秦野市では、市民に開かれた議会を目指した議会基本条例の施行をきっかけに多目的利用の方針を決めました。議員の発案でコンサートの実施のほか、映画の無料上映や未来対話(グループワーク)が行われています。

西尾市議会



結婚式をすることも

西尾市議会の議場では2人が市内に住民登録しているなどの条件で、結婚式に活用されています。

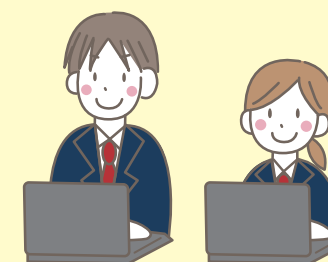
※現在、募集は行っておりません。

真庭市議会



学習室に活用

岡山県真庭市では学校の夏季休業期間に議場を自習室として開放し、12日間で59人が利用したことから、冬季休業期間にも開放しています。飲食は禁止としながら、静かにできるなら学習以外に読書もできる運用としています。愛知県では南知多町が議場を自習用に開放しています。



全国の自治体の議場の多目的利用を調べてみて

● 今回掲載したのは、多目的利用している自治体の一部に過ぎませんが、どの自治体も多種多様な検討がなされており、議会を身近に感じられる良い取り組みと感じました。

本市でも今後の実施について検討していくためにも、市民の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

6月定例月議会議案等の審議結果

6月定例月議会は、6月3日から6月24日までの22日間にわたり開催し、議案23件、請願 1 件、陳情 8 件、決議案 2 件などを審議しました。 ※議長は採決に加わらない ○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択 除：排除

議 案 名 (概要)	審 議 結 果	会派名・議員名																			
		清 和						市民派の会		緑クラブ		公明党		共産党	たんぽぽ	清澄	ひまわり	クラブ	市政	青島	
		岡島ゆみこ	青木けんじ	鵜飼 貞雄	いとうひろし	服部 龍一	毛受 明宏	近藤ひろひで	浅井たかお	こんどうのぶお	林ゆきひろ	中堀りゅういち	武谷としお	鈴木 智和	一色美智子	郷右近 修	ふじえ真理子	清水 義昭	堀内 ちほ	三浦 桂司	月岡 修一
農業委員会委員の任命について (議案第31～41号) (近藤明氏 (三崎町) 他10名を任命、任期は3年)	可決	議案第 31~41 号すべてにおいて全会一致で可決 ※議長 (毛受明宏議員) は採決に加わらない																			
工事請負契約の締結について (外壁等改修工事) (外壁等改修工事契約 5億6,100万円)	可決	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
市道の路線廃止について (県道名古屋岡崎線の整備により1路線を廃止)	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線認定について (県道名古屋岡崎線の整備により11路線を認定)	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市職員の旅費に関する条例の一部改正について (国家公務員等の旅費支給規程の一部改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市税条例の一部改正について (地方税法等の一部改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
豊明市都市計画税条例の一部改正について (地方税法等の一部改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市国民健康保険税条例の一部改正について (地方税法等の一部改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
豊明市児童発達支援センター条例の一部改正について (令和9年度より児童福祉法に基づく児童発達支援センター事業を指定管理者に行わせる改正)	可決	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○
豊明市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について (非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊明市一般会計補正予算 (第3号) について (合併処理浄化槽設置費補助金 約4,400万円の追加補正等)	可決	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○
工事請負契約の締結について (防災調整池設置附帯工事) (防災調整池設置附帯工事契約 約1億9,800万円)	可決	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	
令和8年度豊明市一般会計補正予算 (第4号) について (樹木伐採作業委託料・スクールバス購入費 1,800万円の追加補正等)	可決	○	○	○	○	○		○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■報告

令和7年度豊明市土地開発公社決算並びに令和8年度豊明市土地開発公社事業計画及び予算の報告について (土地開発公社に係る決算及び予算の報告)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
令和7年度豊明市一般会計予算の繰越明許費に係る繰越報告について (令和7年度から令和8年度への繰越額の合計約12億円)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
令和7年度豊明市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について (令和6年度から令和7年度への繰越額の合計約5.9億円)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
豊明市国民保護計画の変更の報告 (武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律にて準用される規定による本市計画の変更)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし

■決議案

近藤ひろひで議員に対する名誉回復を求める信任決議について	可決	○	○	○	○	○	議長	除	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
近藤ひろひで議員に対する議員辞職勧告決議について	否決	×	×	×	×	×		除	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×

■請願・陳情

近藤ひろひで議員の公選法違反の疑いに関する政治倫理審査会審査のやり直しを求める請願	不採	—	—	—	—	—	議長	除	○	○	○	—	—	—	—	○	趣	—	—	—	—
最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採	—	—	—	—	—		—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
愛知県最低賃金の適切な引き上げに愛知県が積極的な役割を発揮することを求める意見書の提出を求める陳情	不採	—	—	—	—	—		—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
公営的事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採	—	—	—	—	—		—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採	—	—	—	—	—		—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—

議 案 名 (概要)	審 議 結 果	会派名・議員名																			
		清 和					市民派の会		未来クラブ		公明党		共産党	たんぽぽ	清澄	ひまわり	クラブ	市政	青島		
		岡島ゆみこ	青木けんじ	鶏飼 貞雄	いとつひろし	服部 龍一	毛受 明宏	近藤ひろひで	浅井たかお	こんどうのぶお	林ゆきひろ	中堀りゅいち	武谷としお	鈴木 智和	一色美智子	郷右近 修	ふじえ真理子	清水 義昭	堀内 ちほ	三浦 桂司	月岡 修一
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採扱	—	—	—	—	—	議長	—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	不採扱	—	—	—	—	—		—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採扱	—	—	—	—	—		—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
教職員の長時間過密労働を解消するための実効ある施策をすすめ、年間を通じた教員の未配置を直ちに解消するための施策を求める意見書の提出を求める陳情	不採扱	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—

※委員会で不採択と決した8件の陳情は、本会議で採択について諮ったため、それ以外の意思表示は諮らず、「—」で表記されています。
※委員会で不採択と決した1件の請願は、本会議で採択、趣旨採択について諮ったため、それ以外の意思表示は諮らず、「—」で表記されています。

令和8年豊明市議会定例会 開会議会議案等の審議結果

5月15日に開会議会を開催し、議案等11件を審議しました。 ※議長は採決に加わらない ○：賛成 ×：反対 除：除斥

工事請負契約の変更について(国庫補助事業 防災調整池設置工事) (国庫補助事業防災調整池設置工事契約 約7,000万円増)	可決	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和8年度豊明市一般会計補正予算(第2号)について (防災調整池設置工事費 約2億1,000万円の追加補正等)	可決	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
監査委員の選任(三浦桂司議員を選任)	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○

■報告

専決処分事項の報告 (豊明市税条例の一部改正) (地方税法等の一部改正に伴う改正)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
専決処分事項の報告 (豊明市都市計画税条例の一部改正) (地方税法等の一部改正に伴う改正)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
専決処分事項の報告について (豊明市国民健康保険税条例の一部改正) (地方税法等の一部改正に伴う改正)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし

■選挙・選任

議長の選挙	毛受明宏議員が当選
副議長の選挙	服部龍一議員が当選
東部知多衛生組合議会の議員の補欠選挙について	毛受明宏議員が当選
尾三消防組合議会の議員の選挙について	郷右近修議員、ふじえ真理子議員が当選
常任委員会の委員の選任	文書で提案された各委員会の委員に異議なし
議会運営委員会の委員の選任	文書で提案された議会運営委員会の委員に異議なし

■決議案

近藤ひろひで議員に対する議員辞職勧告決議について	否決	×	×	議長(代理)	×	×	×	除	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
--------------------------	----	---	---	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

決議

5月開会議会の5月15日に審議し、否決しました。
近藤ひろひで議員に対する議員辞職勧告決議

決議

6月定例月議会の6月24日に審議し、可決しました。
近藤ひろひで議員に対する名誉回復を求める信任決議

決議

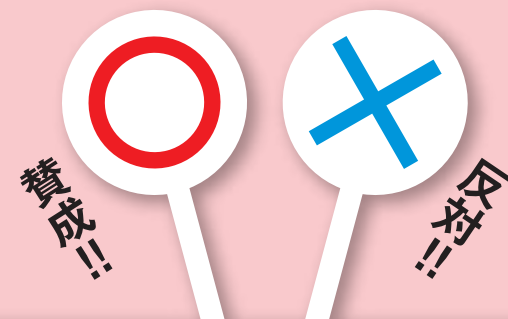
6月定例月議会の6月24日に審議し、否決しました。
近藤ひろひで議員に対する議員辞職勧告決議

決議案の詳細はホームページに掲載しております。下記 QR コードよりご確認ください。





がどのように決まったのか



総務委員会

議案第51号令和8年度豊明市 一般会計補正予算（第3号）

1 議案が提出された背景

この議案は、運行開始から約7年が経過し、市内での移動手段として定着し、市民にとって欠かせない行政サービスとなっている「チョイソコとよあけ」において、登録者数の増加に伴い発生している「予約が取れない」「運行本数が不足している」といった課題を解決するため、運行車両を現状の2台から3台に増車（車両購入費約456万円予算の増額補正）するためのものです。

2 主な答弁

- 補正予算としては1台増車の予算を計上しています。
- 地域公共交通会議の中で1台増車に関しては、一定程度了承いただいておりますが、何月から増やすという協議は改めてさせていただくという事です。
- チョイソコ事業ですと車両と運転手が確保される事になりますので、空きがありません。運転者がいないという現状は避けられると考えています。

3 議案に対する主な意見

×の意見

この時期にサービスを増やしていくのがいいのか全体で検討出来ていません。経済合理性があるのか分かりません。将来の市の負担に大きく影響します。地域公共交通会議でも議論がされていないと思い、反対。

○の意見

大変ありがたい制度で、なくてはならない交通手段です。タクシー会社、バス会社との調整も十分事前調査していただいた上で新しい車両を購入する旨の提案をして、賛成。



賛成多数により原案のとおり可決しました。



健康福祉委員会

豊明市児童発達支援センター条例の 一部改正について

1 議案が提出された背景

現在、豊明市では、児童発達支援センターを市が設置し、社会福祉法人が運営する民間委託の形を取っています。豊明市は近年、指定管理者制度を推進しており、行政改革の柱として「民間ノウハウの活用」や「効率的な運営」を掲げています。そして、この度、児童発達支援センターもその対象となりました。指定管理者制度を導入することで、市による管理や監督が制度上より明確化され、整理されることとなります。

2 主な答弁

- これまでは専門的な提案について全て市に相談し、了解を得ていましたが、事業者に裁量を与えることで迅速に実施できる点が大きな利点です。
- 民間ノウハウの詳細については、これまでどおり公開しない方向です。そもそも、指定管理者の指定は契約ではなく協定書の範囲で行われる行政処分であり、民間ノウハウの公開の有無を協定書に書き込むことはしないものと認識しています。

3 議案に対する主な意見

×の意見

児童発達支援センターの運営業務について、基本的に市が責任を持つべき。今後、市のノウハウが無くなったりコスト増につながったりと質があがるとは言えない。

○の意見

専門的知見を持つ方が今後支援業務に参加することで、利用者への支援の質が向上すると期待している。さらに、市との連携や年2回のモニタリングなど、運営体制が充実しており、市や利用者の利益に適合する内容である。



賛成多数により原案のとおり可決しました。



建設文教委員会

工事請負契約の締結について

1 議案が提出された背景

防災調整池設置付帯工事施工に必要であるためです。土中に大量のコンクリートのガラや木材などの建設廃材が埋められていることが判明したため、分別・分級工（土と細かい廃棄物をふるい分ける作業）一式と廃棄物処理一式の工事請負契約を締結するものです。契約方法は随意契約とし、請負契約金額は1億9,855万円です。また、請負契約者は防災調整池設置工事請負業者と同じ株式会社成瀬組です。

2 主な答弁

- 不調の原因の分析と対応として、当初は現履行中の契約請負率を用いて予定価格を作成しましたが、落札が得られなかったため、河川改修事業の別の工事の平均落札率を参考に予定価格を見直しました。
- 現契約工事を行っている業者に依頼することで、工期の短縮や経費の節減が図れるなどのメリットがあるため、随意契約としたものです。

3 議案に対する主な意見

×の意見

この随意契約は、不落後に設計や工程の見直しを行わず、業者側の提示金額に合わせた契約であり、1社からしか見積もりを取っておらず、競争性、経済性が担保できない。反対。

○の意見

安いからといって他の業者に任せると大変なことになる。地中の埋蔵物の量は分からないが、事故のないようにしてほしい。設計など市の能力を高める機会にもしてほしい。賛成。



賛成多数により原案のとおり可決しました。



一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について17名の議員が質問に立ちました。その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。



ふじえ 真理子 議員

公共施設の使用料はどう決まっているの？

～勅使グラウンド（夜間）等を例に～

質問の趣旨

本市は公共施設使用料の設定基準が明確に示されていない。勅使グラウンド（サッカー利用）夜間照明含む使用料を近隣比較すると人工芝と同等の金額になっている。指定管理更新に合わせ使用料を見直す際に、スポーツ文化振興など政策的観点から減免も含めた、本市の使用料設定基準の明確化と財源確保策を提案した。

答弁

R 2年度改定時に市民負担の公平性を重視した基準はあるが内部資料。名古屋市緑区からの利用者が非常に多く、豊明市民が使いやすい状態にしないといけない。勅使グラウンドや豊明中運動場ナイター使用料等は、今後全体見直しの中で減免も含め検討の余地はある。ネーミングライツ活用の検討は再調査する必要がある。



コメント

公共施設は市民の学び・スポーツ・文化活動を支える大切な場所。だからこそ、料金の根拠を明確にして誰もが納得できる仕組みが必要。子どもやNPO法人への減免制度の政策的導入の一考も求めた。他に【協同労働でつくる“新しい公共”と豊明市のこれから】について、市の認識と今後の方向性を質問した。

鵜飼 貞雄 議員

自転車利用者の安全確保と交通環境整備について

質問の趣旨

改正道路交通法に基づき、令和8年4月1日より自転車に対する交通反則通告制度、いわゆる青切符による取り締まりが行われることになりました。かねてより自転車利用をはじめとした交通環境の整備と交通安全教育の重要性を一般質問においても取り組んで参りました。法と実状の乖離など含め質問しました。

答弁

車の免許を取得するより前の年代の方々のルール、マナーを向上させるべきと考えます。若年層世代に刺さる情報発信の方法としては、SNSを通じての発信方法が重要と思います。一方、発信の仕方によっては思いが届かない場合もあるため、しっかりと検討したうえで活用していきたいと考えています。



コメント

市内各所を実際に自転車で行き、危険と感じる箇所はいくつもありました。警察庁は交通状況に見合った規制解除や、歩道の幅員に応じた自歩可規制や車道の拡幅など実態に即した見直しを検討するよう通達しています。市道や歩道の整備は道路管理者である市の責任下にあるため、対応を要望します。

武谷 としお 議員

健康推進活動における本市の現状と取り組みの方向性について

質問の趣旨

児童生徒が運動する機会を確保するために、地域全体で連携する必要があることは理解していますが、まずは学校の中での取り組みが必要ではないか。雨の日のほかに暑さのピーク前の大放課の時間は、体育館のエアコンをつけた状態で開放し、積極的に体を動かす機会を設けてみてはどうか。

答弁

すでに実際に小学校で実施している学校はあります。子どもたちからの提案であったかと思います。現在3つの小学校で体育館の開放をしています。この取組みに限らず子どもたちの体を動かせる場は確保していき、体を動かすことの大切さについて積極的に働きかけていきたいと思っています。



コメント

エアコンが利いている体育館の開放は、熱中症対策と運動機会の確保を両立する良い取り組みなので、3校以外の学校にも働きかけをするよう要望しました。ほかに、高齢者や障がいがある方、働く現役世代の運動機会の現状と今後の方向性についてお聞きしました。

三浦 桂司 議員

偽情報(フェイクニュース)の拡散対応について

質問の趣旨

1、AIが進化していて、技術を用いて画像などでのディープフェイクが出回っている。災害などでも、さまざまなフェイクニュースが出回っている。仮にフェイクニュースが出回った時の豊明市の対応は。
2、来年は、知事選、県議会選挙、市長・市議会選挙、参議院選挙と続く、選挙へのフェイクニュースの対応は。

答弁

1、災害時にSNSで流れている情報だけで行動するのではなく、公式情報を確認するように周知をしていく。
2、意図的かつ悪意のあるフェイクニュースが拡散されるリスクも高まっている。形態も巧妙化、多様化していて過去の映像や画像を切り貼りして文脈をゆがめたりしている。しっかり体制を整えていきたい。



その他

小学校の朝の開門前の預かりモデル事業では、希望する保護者に事前登録をもらい、保護者が預かり場所で児童を引き渡す。災害から命を守る対策について、台風などの進路は、AIでおおよそが確定できるので、事前にどのような対応をすべきか、リスク管理をしていただくことが大前提だと考えています。

いとう ひろし 議員

「オールTOYOAKE!ピカピカ大作戦」まちは市民とつくる

質問の趣旨

全市民に呼び掛ける市民総参加の美化活動についての見解は。市民活動に必要な備品や燃料代や助成金等を支援する取り組みは。新たに制定された労働者協同組合とは。新城市において設立された労働者協同組合による地域活動の取組みは豊明モデルとして検討できないか。その際、本市では創業支援補助金等の対象か。

答弁

市民の皆様と美化活動を進めていくことは、大切に大事なことを考えています。必要な消耗品があれば支給し相談にも応じます。労働者協同組合は、住民主体での地域課題解決を目指し地域内に経済的メリットもあり、地域貢献制度を導入して職員が新たな働き方に挑戦できる団体ですが、創業支援等補助金は対象外です。



コメント

新たな取り組みとして、労働者協同組合が各地で設立され、本市でも設立の動きがあります。すでに運用されている新城市でお話をお聞きして参りました。ボランティア団体の高齢化と新規加入者確保が課題ですが、労協設立により、多様な働き方が可能になり「稼ぐ地域」を目指し、持続可能な社会を実現する。

服部 龍一 議員

自転車への交通反則通告制度について

質問の趣旨

自転車への交通反則通告制度(青切符制度)は本年4月1日から開始され、自転車の悪質な運転を取り締まることが目的です。信号無視等113の項目があり、4月中に愛知県内での摘発は251件ですが、この制度については、まだ市民の皆さんに浸透していないと考え周知の意味も含めて質問しました。

答弁

歩道の通行ルールについては、自転車は車道通行が原則ですが、運転者が児童、幼児、70歳以上の方、又は、身体に障がいをお持ちの方は、車道の交通状況から安全確保の為、歩道の通行ができます。また、一時停止については、車と同様に一時停止線での停止、横断歩道を歩行者が渡っている時も一時停止が必要です。



コメント

自転車の青切符制度は、交通事故を起こさない様にする為であり、安全が第一であります。車を運転するものも車道を走っている自転車や、交差点では右折する自転車には、特に気を付ける必要があります。この青切符制度に関する講習会は、愛知署と協力して開催してもらえますので是非とも活用しましょう。



一色 美智子 議員

ワクチン接種について

質問の趣旨

・高齢者肺炎球菌ワクチンの独自助成について(現在65歳のみに限定)
・インフルエンザワクチンの公費助成の拡大の、今後の周知の方法について
・HPVワクチン接種の今後の周知について
・男性への接種が承認されたこととその効果の周知について

答弁

・66歳以上を対象に接種費用の一部を助成することを検討している。
・現時点では中学3年生のみ。公費の助成拡大は考えていない。周知方法は、公式LINE・SNSの活用を検討。
・個人通知の対象を来年度から小学6年生への前倒し通知を検討していく。
・男性のHPVワクチン接種について周知を検討していく。



コメント

ワクチン接種は市民の命を守り、重症化や医療費の増大を防ぐ重要な施策です。今後は個別対応にとどまらず、切れ目なく届ける総合的な感染症対策を強く求めました。その他に「シルバー人材センターの加入促進と活性化」について質問をしました。



青木 けんじ 議員

自然災害に対する準備と発災時に対する対応について

質問の趣旨

発災時各避難所において、プライベート空間の確保などを考慮した場合、ストレスなく有効に利用できる現実的な人数は。
避難行動要支援者の情報、高齢者等の要支援者の情報や個別の避難計画が、現在どこまで策定、集約され行政区の区長や役員の方と、どのように連携、共有されているか。

答弁

小学校の体育館では最大で60人を収容可能。豊明中学校では112人、栄中学校、沓掛中学校では108人という形で体育館の収容人数を想定。高齢者や障がい者などの要支援者を避難行動要支援者として把握し、名簿を管理。個別避難計画は本人の同意を得た上で区長や自主防災組織、町内会などに提供し支援に活用。



コメント

災害時における様々な懸念事項について質問。
健康問題にもつながるトイレの準備や対応策の確認。在宅避難における留意点、災害時に準備として個人で備蓄しておくべき品目・数量や各地域に対する共助の重要性など、今回、改めて確認した内容を伝播していきたい。



中堀 りゅういち 議員

認定外道路の維持管理について

質問の趣旨

隣接地権者が払下げを希望しても、該当地に隣接する全ての地権者の許可が必要で、途方もないハードルとなり、断念をするケースも考えられます。ハードルを下げ、市の財源確保と管理負担の軽減を両立させるために、今後の認定外道路の維持管理についての見解をお伺いいたします。

答弁

認定外道路は、市道として認定されていない道路で、赤道、里道などと呼ばれるものが含まれております。道路の払下げをする場合は、対象地が道路として機能を有していないこと、官民境界が確定していること、臨時所有者の同意が得られていることなど、様々な条件を定めております。



コメント

機能不全や境界確定、隣接者の同意などが明確に示されました。財産管理の厳格さや将来的な境界トラブルの防止、公平性の担保という観点からは、妥当かつ手堅い基準が示されています。適正な維持管理に努める姿勢が見て取れます。ただ、赤道払下げのより円滑な実施に向けた検討も要望いたします。



浅井 たかお 議員

市民の憩いの場である公園の管理は適切か

質問の趣旨

豊明市には60以上の公園があり、それらの公園は、市民が快適に利用できるよう適切な管理が必要。数年前から、まとめて市外、遠方の造園会社が指定管理者となった。その直後から、公園の管理に関する市民の不満を耳にするようになり、私自身も現場を見て「これはひどい」と感じることがあり、いくつか質問した。

答弁

市直営と同様以上の管理や運営を期待し、プロポーザルを行って指定管理とした。民間のノウハウ等を取り入れるところも大きな理由。草刈りの維持管理ではご意見等が多かったが、公園でのイベント開催は多くの方の来場があり喜ばれている。今後も、コスト削減については十分考え、適正な維持管理に努める。



コメント

指定管理者は手抜きし放題で、都市計画課は業者任せ。市は公園の実状がどうなのか把握できていない。折れた太い枝が落下寸前な状況でも放置してあった。公園内のコンクリート製施設もひびだらけで、ボロボロ。情報も公開されず、議会のチェックもままならない豊明市の指定管理は見直す必要があると思う。



鈴木 智和 議員

登下校時における児童の安全対策について

質問の趣旨

市内の小学校児童の登下校時の安全、安心の確保の取り組みの一つとして、保護者アンケートによるニーズ把握や、校門での通過確認に限定したICタグ等の簡易な仕組みなど、まずは低コストかつ、実証的な形で導入検討の可能性を把握していくも一つの考え方ではないかと感じる。どのように考えているか質問しました。

答弁

他市町の導入事例を調べた上で、どのような登下校の仕方の中で導入していて、保護者がどのように受け止めているのか情報収集をしながら、本市にとって当該システムが有効に活用できるものなのかという事やその効果について、十分に研究する必要がありますと考えています。情報収集をしっかり行ってまいります。



コメント

子どもたちの安全はもちろん、保護者の安心も大切な視点です。地域の見守り活動を大切に、費用対効果を十分検証し、本市に合った安全・安心対策の研究を進めていただきたいと思います。また、保護者の声にも耳を傾けていただきたいと思います。他に「外国人住民への交通安全周知」について質問しました。



清水 義昭 議員

近くの小学校に通いたい！

質問の趣旨

小学校区の変更を求める声を多く聞かれるようになった。目の前にある小学校を横目に見ながら離れた別の小学校に通学する児童たちも少なからず存在する。また、小学校区と行政区の不一致は、地域コミュニティや災害時に影響を与えると考えられる。そこで小学校区の変更はできるのかについてお聞きする。

答弁

小学校区が端の方に寄ってしまっていて隣の学校区の学校が見えるところがあるのは確か。住民の皆様方の合意の整理がついており、学校のキャパシティ、子どもたちにとって適切な学習環境が提供できるか、通学の距離、安全上に問題がないかなどの面から見て問題が無いのであれば変更を進めることは不可能ではない。



コメント

小学校区を決めた当時と今とではずいぶん環境が変わっている。住民側の合意があれば変更は不可能ではないとのことなので、ご要望にお応えできるよう一歩ずつ前に進めていきたい。他にもデータの正確性に関する質問をしました。ぜひとも上のQRコードから質問の動画をご覧ください。ただければと思います。



堀内 ちほ 議員

通学路について

質問の趣旨

通学路における危険箇所の対策は最優先で行われているが、多くは交通事故対策であるように思う。しかし通学路は、健常者のほか、車椅子で通学する子、ベビーカー、最近では高齢者のシニアカー等も利用するため、凸凹のない通行のしやすい歩道が必要と思われるが市の認識は。

答弁

歩道の段差や、歩道の凸凹については、街路樹が成長するにつれ、歩道の舗装を持ち上げる現象となっているので、この状況がひどくなれば、危険性も生じてきます。そのため、程度にもよりますが、安全な通行に支障がある箇所、緊急性のある部分は速やかに対応させていただきます。



コメント

以前、車椅子に乗った小学生に「いつか1人で学校に行けるように道路をキレイにしてください!」と言われました。それから歩道を気にして歩いていると気になる所が何箇所もありました。障がい者にも高齢者にも子育て中の方にも優しい歩道になることを願い質問をしました。



林 ゆきひろ 議員

地域に開かれた学校づくりを目指して (豊明市のコミュニティ・スクールについて)

質問の趣旨

学校と地域が連携できず、行き違いが生じている事案を聞きます。子どもの学び充実、安心安全な教育環境の実現には、学校と地域が協働する体制づくりが不可欠です。地域に開かれた学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクールの本来の趣旨を再確認し、運営状況、課題、市教委の役割について質問しました。

答弁

学校運営協議会は地域が学校運営に参加し共に学校をつくる役割があり、地域資源を活かした教育活動が進められる。地域との若干の考え方の相違はあるが、調整は学校長が担っており、教育委員会が入っていない。公表は学校ごとにばらつきがあるが、情報発信は必要と考えている。学校と地域が距離を縮める必要がある。



コメント

市教委の役割として、地教行法や規則には協議会運営の指導助言を、社会教育法は地域との連携協力体制の整備を求めています。学校任せで地域との状況も十分把握しておらず、体制整備も不十分。様々な観点から改善の検討を要請しました。その他、間米南区画整理の遅延と資金不足について質問しました。



郷右近 修 議員

小学校の学校給食無償化について

質問の趣旨

令和8年度に小学校の学校給食は無償化がされているが、特別支援学校では一度給食費を納めてから、その費用があとから払い戻される償還払いになっていると聞いた。国立・県立の小学校の無償化の措置の実態について質問をした。

答弁

無償化は市町村の学校給食の賄い材料費に充てることになっていて、仕組み上、国は対象外。豊明市の小学校の特別支援学級は無償化されている。特別支援学校は本市のことではないが、一度収めた後に就学奨励費のような形で返していると聞く。特別支援学校に通う二十数人の児童が全てそうなのかは、把握していない。



コメント

令和8年度の小学校給食費の無償化は市町村に対して、賄い材料費分を国が交付金を出す方法で行われているということで、市町村立以外の公立の小学校に通う児童に差が出ることは、政府の単年度政策としての限界があると考えた。法律に給食は無償と明記して、完全な無償化を実現できるようにしていきたい。



こんどう のぶお 議員

「だれもが安心して利用できる避難所にするために」

質問の趣旨

避難所への移動や避難生活に不安や課題を感じている高齢者や難病患者、障がいを持つ方は少なくありません。すでに分かっている課題、他市町で実施できていることは、行政の責務として迅速に取り組むべきと考えます。地域社会に埋もれがちな弱者の声、小さな声からお聞きした話や心情も踏まえながら質問をしました。

答弁

市長の答弁として、対象の方の状況は得ている状態です。色々な課題があることは認識しています。その課題の解決をしないといけない事の責務も感じております。どの施設に医療ケア児の方々が安心して避難できる体制を取るべきか様々な角度から検討している状態です。空調についても必要であることは認識しています。



コメント

一般の方は指定避難所、高齢者の方などは福祉避難所、医療ケアの方は重要福祉避難所をつくり対応すべきと提案しました。他市町では災害に強い体育館の取組みが進んでいます。今後は保健センター、マンホールトイレが設置された社協・勤労会館、また福祉体育館など空調工事更新時に検討をすべきであります。



岡島 ゆみこ 議員

公金収納におけるキャッシュレス化と利便性向上について

質問の趣旨

ネット銀行やキャッシュレス決済の普及により、市民の生活様式や金融行動は大きく変化しています。そこで、本市の公金収納の現状と課題、今後のキャッシュレス化の方向性、納付環境の利便性向上や来庁時の納付環境整備について質問しました。

答弁

キャッシュレス納付の拡大に対応し、地方税お支払いサイトや電子決済による納付環境を整備しています。令和9年10月のシステム標準化に合わせ、市県民税や国保税にも二次元コード対応を拡大し、より分かりやすく利用しやすい納付環境づくりを進めていきます。



コメント

市の負担は市民の負担でもあります。市民サービスとは給付や支援だけではなく、税や料金を納める側にとっても、分かりやすく納めやすい環境を整えることが重要です。時代の変化に合わせ、市民の利便性向上と行政効率化の両立に向け、更なる納付環境の充実を求めました。



日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25 本会議 (議案上程、提案説明)	26	27 本会議 (一般質問)	28 本会議 (一般質問)	29
30	31 本会議 (一般質問)	9/1	2	3 本会議 (議案質疑、委員会付託)	4	5
6	7 決算特別委員会	8 決算特別委員会	9 決算特別委員会	10 総務委員会	11 健康福祉委員会	12
13	14 建設文教委員会	15	16	17	18 本会議 (委員長報告、討論、採決) 全員協議会	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26
27	28	29	30			

※上記は予定のため、日程等が変更される場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

豊明市議会議員 政治倫理審査会

豊明市議会は令和2年12月22日、豊明市議会議員政治倫理条例（以下条例という）を制定しました。この条例に基づき、令和6年11月21日及び12月11日に近藤ひろひで議員に2件の審査請求がありましたので、豊明市議会議員政治倫理審査会（以下審査会という）を設置し、審査を行いました。

審査請求の審査が令和8年5月1日に終了しましたので、報告いたします。

1 近藤ひろひで議員に対する審査結果の概要

審査事由 ▶ 地域の夏まつり、秋祭り等祭事に際し、市内各所において非公開を求めつつ金銭の提供をし、公職選挙法が禁ずる寄付行為に該当する可能性があるため。

審査結果 ▶ ● 2件の審査請求はともに、条例の基準を遵守することを怠った事実がないと認定した。

審査の経過 ▶ ● 委員長・副委員長を互選し、委員長 清水義昭議員、副委員長 武谷としお議員とした。

● 審査会の進め方を協議し、傍聴及び審査方法を決定した。

● 審査請求が審査会の審査に適するか否かを協議し、審査に適すると決定した。

● 審査請求代表者及び被請求議員に対して事情聴取及び弁明の機会を設け、調査を行った。

● 愛知県選挙管理委員会、愛知警察署及び各関係者の調査協力について協力を得られなかった。

● 政治倫理基準の遵守を怠った事実の認定について採決を行った。

結果、賛成少数により審査請求は、政治倫理基準の遵守を怠った事実と認定しないことと決定した。

議会だより266号に関するお詫び

令和8年5月1日発行の議会だより266号 17ページ（議会運営委員会行政視察）におきまして、下記のとおり誤りがありました。

誤 委員 鈴木 智一 **正** 委員 鈴木 智和

訂正するとともに、関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

編集 後記

今回の特集ページでは、議会が開催されていない期間に、議場を多目的に活用されている市の事例を取り上げてみました。過去には、豊明市においても、コンサートを開催しましたが、現在は多目的利用は行われておりません。議場の形状は市町によって異なるため、すべての事例が適しているわけではありませんが、全国的にこのような試みがあることを皆さんに知っていただけたらと思い特集にしました。（鈴木）

発行：豊明市議会
編集：議会だより編集委員会

電話：0562-92-1121

メール：gikai@city.toyoake.lg.jp

詳しい情報は豊明市議会
ホームページをご覧ください。

豊明市議会 検索



市議会HP

次回の議会だよりは11月1日発行